

# 臨時議会開催

## 平成23年度各会計決算を審査！ 市議会 新しい体制が決まりました。

### 日本共産党 市議員団 ニュース

9月定例会で継続審査とした一般会計と特別会計決算は、閉会中の決算特別委員会で審査し、10月25日に開かれた第4回臨時定例会で認定しました。

日本共産党議員団は、一般会計決算は、住田由之輔議員、北野のり子議員。特別会計決算は、黒田みち議員が委員として各々審査し、一般会計は認定。特別会計は、国民健康保険事業、中央北地区土地整理事業について不認定としました。

住田由之輔議員が（一般会計）、賛成討論、黒田みち議員が特別会計（国保、中北事業）について反対討論を行いました。

#### 一般会計決算認定

#### 住田 由之輔 議員

私ども日本共産党議員団は平成23年度予算に賛成をいたしました。私が議員になって初めてのことです。その時の討論原稿を読み返してみました。大塩市政に対して問題があるという認識を持ちながら日本共産党議員団が要求してきた学校の耐震化を本腰入れて施行してきたこと、各種ワクチン接種の公費補助が実っていないこと、大きな税金の無駄遣いが無いこと、中央北地区整備事業が事業認可される中、多少ではあるが規模の縮小補償費の削減が見込まれ工事費としては設計委託程度であったこと。また、「国民健康保険特別会計への繰り出し金」では、法定外繰り出し金を投入し値上げをしないようにと訴えていました。23年度は投入していませんが、24年度から改善が見られました。「地域分権」ではまだ模索の状況ですが、公費支出においては慎重な姿勢を示していただけると

思っています。「市立川西病院への貸付金」では、病院管理者を兼任とせず独自に設置し、改善へ努力する方向をむけたことは、公的医療機関として拡充する方向が取られたわけで、これまでの態度を更にした一定の改善点と認識します。しかし成果は十分にほど遠い事態です。しかしこの中でも、現在の医療スタッフは頑張っているわけで、その状況も数字で表れており、そこは「よい評価」をし、ともに改善していく姿勢を、市のトップとして、幹部として見せていくべきです。

「中央北地区整備事業」に関しては、「市が責任もってまちづくりをする」という観点から言えば、90億円の事業費を投資に見合う「責任の取り方をしている」とは思えません。他力本願的な希望的観測を述べるのではなく、もっと市全体のまちづくりの観点に立った指導・監督をしていくべきです。この間、火打ち前処理上の建設、下水処理の減免、皮革工場跡地買い取り、工場の移転補償費、空き地の借り上げと皮革工場に対して

様々な支援が行われ、その金額は利子など入れると優に300億円を超えます。ところが決算委員会、中央北地区整備事業を推進するに当たり、向う30年間火打前処理場を稼働すればそれに匹敵するほどのお金がかかり、前処理場をストップしたのだからそのお金でもって整備するのは納得されるものとの回答がありました。本来「民間企業」が責任もって工場汚水処理をしなればならないものを、市民の税金で支援してきたもので、それ以前の皮革産業が市に貢献してきたという経緯があつたとしても、問題をすり替えて、市民に責任を負わす「処理費用を使わない場合」発言は納得できるものではありません。民間企業」に甘い対応が、「再開発ビル」貸し付けや、これまでの再開発事業の失敗を「あとは税金で行ってくれる」という慣例を作り出してしまっているのではないのか、全く反省が見られない発言です。市のトップも、幹部も「あとは税金で」という悪い慣例をなくすために「もつと真剣」になるよう要求するものです。「再開発ビル管理法人への貸付金」では、予算の変更が生じた案件です。3億円の貸し付けを5億円へ変更したことに対しては

日本共産党議員団としても厳しく指摘しております。管理会社の大株主とはいえ、短期であろうとも巨額の貸し付けをするということは例外的なこととわきまえた対応が求められます。予算措置が「枠配分方式」になる中、職員の定数削減が計画以上に達成し続いており、一人当たりの仕事が増え、仕事そのものが「個人責任」にさせられている危険性を指摘しないわけにはいきません。公共事業はチームで仕事をすべきです、チーム全体で責任を取っていくべきです。それを否定しかねない人事評価制度は導入すべきではありません。もちろん市役所で働く皆さんは正職員を原則に人事も力を入れるべきです。このような中でも少ない予算をやりくりして、市民の要望を拡充している施策もあり、努力を評価するものです。精神障がい者への市独自医療費扶助、幼小中児童生徒への加配教諭対応等、空港騒音跡地へ公園の設置、契約関係での改善、老人施設建設・保育所建設への支援、きんたくん学びの道場、こんにちには赤ちゃん事業などは評価したいと思います。

決算審査を終えて、税収が減ってきたとはいえ200億円近く市税収入があり、減らさない努力・現役世代を川西で住み続けたい気持ちにさせる政策が求められています。国では年少扶養控除の廃止、子ども手当の縮小、消費税の引き上げ、復興財源確保のための増税と将来へ向かって「増税路線」を強化し、社会保障制度全般にわたり改悪する方向です。これは庶民の生活を困難にする路線ですから、すぐに景気の悪化を招き、近い将来「増税減」を招き、国の財政はますます悪化し、地方行政も大きくマイナスの影響を受けます。このような中だからこそ、行政として、市民の福祉の増進を図っていくことを最大の目的にし、そのために努力していくことを要求し、「認定する」討論とします。

発行  
日本共産党  
川西市議員団

市役所控室  
Tel 740-1111  
内線 4020  
議員団直通  
FAX 759-1811

市議員団  
住田由之輔  
Tel・fax 759-4541  
黒田みち  
Tel・fax 790-3055  
北野のり子  
Tel・fax 793-9515



### 国民健康保険事業 特別会計決算認定

黒田 議員

平成23年度は、平成22年度に比べ、賦課限度額が医療給付費分で4万円・後期支援金分で2万円・介護納付金分で3万円の値上げ、最高9万円、限度額が77万円になるという大幅値上げになりました。24341世帯（市全体の36.1%）、42378人（同26.4%）の加入者に平均5.11%の値上げ、約2億円もの値上げ実施をした年度となり、本決算に反対です。国民健康保険事業は、憲法25条に基づく社会保障制度。国民健康保険法第1条で社会保障及び国民保健のための制度と規定し、第4条で運営責任は国にあるとしています。しかし、国は責務を果たさず、国庫負担金・国庫補助金を減らし、自治体独自の福祉医療などへの支援施策に対してペナルティを課すなど保険税を値上げせざるを得ない状況に拍車をかけ、恒常的に滞納者を出し続ける悪循環制度となっています。平成14年度と平成22年度の比較では、国民所得は96%まで落ち込み、一人あたり国民所得では12万6000円も減っている中で、平成20年度から後期

高齢者医療制度が実施されたものの、国民健康保険事業の予算・決算額の比較では、H14年度からの10年間で1.6倍にも膨れあがっているにも関わらず、国の負担金・補助金の額はH14年度比93%まで引き下がっています。「保険税が払えない」「払うと生活が苦しい」「保険証はあるが窓口負担がきつく病院に行けない」など深刻な状況に拍車がかかっている原因は、市民にあるのではなく、国の政策の側の問題です。私たち日本共産党議員団は、この間ずっと近隣市並みに一般会計からの法定外繰り入れを行い、保険税値上げをすべきではないと要求してきました。しかし川西市は、H20年度は、後期高齢者医療制度の導入と共に、「公平性」「公正性」という言葉で、H19年度に法定外繰り入れを一人あたり5656円繰り入れしていたものを244円まで減らしました。また、平成21年度も329円しか繰り入れませんでした。結局、赤字を積み重ね、本決算のH23年度は、大幅値上げを実施したものの、7億円を超える赤字決算となっています。赤字を出したら保険税を値上げする……私たちごっこでは、市民は救われません。保険税の収納率は現年度分で8割台ですが、軽

減措置がなくなる世帯では6割台となっています。担当窓口では住民の相談に丁寧に応じておられることが、委員会審査の中で明らかになりました。国民健康保険法44条の利用や生活支援課との連携などの取組みを強化されているものの、所得の1割を超える保険税世帯があること、市民税所得割方式から旧ただし書き方式への移行により、多人数世帯の大きな負担、後期支援金分の負担が拍車をかけており、窓口対応だけでは限界がきています。

国民健康保険制度そのものの構造的欠陥を抜本的に変えていくよう、国の責務を果たすべき財政負担をしっかりと行うよう国に対して強く求めること、また、市の政策判断として抜本的な予算措置、一般会計からの法定外繰り入れを十分行い、市民が払える保険税にしていくことを強く求め反対討論とします。



### 中央北地区区画整理事業 特別会計決算認定

黒田 議員

平成22年度、土地区画整理事業の都市計画決定を受け、その後、事業認可、事業計画決定の公告がなされ、事業の収支を明確にし、透明性を確保するためと本特別会計が設置されました。

平成23年度予算では、土地区画整理事業で、6367.77㎡の土地を約16億円で用地先行取得事業特別会計から購入、区画道路・都市計画道路・中央公園などに充てていく説明がなされました。17%平均の減歩率、従前の土地の単価を不動産鑑定において平均9万6000円、これを基本に従後の土地の単価を12万3000円にすることなどの説明を受け、今後、透明性の担保と住民が理解・納得できるようにすること。身の丈にあった事業の進め方をすることを意見として述べ予算には賛成をしました。

しかしこの間、市は、本計画の前身である中央北地区住宅街区整備事業への総括はなく、オーバーストアが明らかになっているにも関わらず、大型商業店舗誘致を含めた計画で突き進むとする姿勢に変わりはありません。

私たち日本共産党議員団は、川西市土地開発公社における、全く見通しのない、また、身の丈に合わない土地購入や税金投入のあり方に苦言を呈してきました。住宅街区整備用地先行取得特別会計と合わせ、「健全化計画」と称して「用地先行取得特別会計」に移す時にも、市が抱えてきた様々な問題や課題が見えなくなっていく危機感も明らかにしてきました。

今回、「中央北地区土地区画整理事業特別会計」で「用地先行取得特別会計」から土地購入を行ったという決算で、簿価で特別会計を渡っている間は、購入土地価格の暴落や市民の税金がいかにムダに使われているかが見えにくくなっています。単年度だけ見ているとよりその問題は見えません。しかし、本決算の中で、市民の財産である土地が、利子で膨れ上がっている現況は明らかになりました。

この年度以降、区画整理事業が進められていきますが、先行取得事業でいかに見通しのない土地購入をしてきたのか、購入土地価格の暴落で損をしているか、利子を含め、無謀な税金投入をしてきたのか忘れてはなりません。今回の土地購入の資料によ

るだけでも、市民の財産としての購入土地は、2分の1以下の価値で活用されること明らかです。今後、同じような状況で市民の大切な財産が、換地等に消えていきます。今後、約90億円規模が進められようとする開発計画も最終市民の税金で責任をとらなければなりません。

財政が厳しいと豪語する一方で中央北地区だけは、「聖域」と化すことがないよう、南北部に細長い川西市で、市民の命を守り、くらしを支え切る自治体本来の役割を担い、市民の願いをかなえるための具体的施策を展開する街づくりを行うよう強く求めて反対討論とします。



	反 対	賛 成
平成23年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	宮坂・北上・岡・津田・福西・土田 小山・多久和・安田忠 住田・北野・黒田	森本・秋田・松田・吉田・大崎・鈴木・平岡 大矢根・江見・宮路・久保・安田末・梶田 (12対12の同数のため議長(梶田)裁決)
平成23年度中央北地区土地区画整理事業特別会計決算認定について	住田・北野・住田	森本・宮坂・北上・秋田・松田・岡・津田 福西・土田・吉田・大崎・鈴木・平岡・大矢根 江見・宮路・久保・安田末・小山・多久和 安田忠

※梶田議員は議長・(敬称略)：吉富議員は、委員会途中から退席

※国民健康保険事業特別会計決算認定について、反対討論を行ったのは、  
黒田 みち議員 (日本共産党議員団)  
福西 勝 議員 (民主市民クラブ)  
賛成討論を行ったのは、  
森本 猛史議員 (無所属)

# 市議会の新体制スタート!

※◎は委員長 ○副委員長



住田由之輔 議員



黒田みち 議員

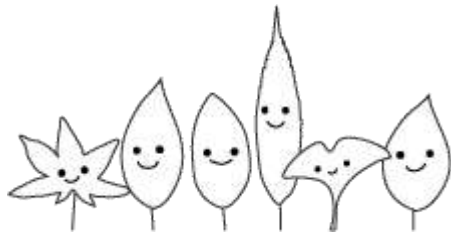
- ♪ 総務生活常任委員会委員
- ♪ 飛行場対策周辺整備調査特別委員会 副委員長
- ♪ 都市計画審議会委員

- ♪ 議会運営委員会委員
- ♪ 厚生常任委員会委員
- ♪ 農業委員
- ♪ 新名神高速道路周辺対策特別委員会
- ♪ 猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員



北野のり子 議員

- ♪ 建設文教公企常任委員会委員
- ♪ まちづくり調査特別委員会委員
- ♪ 広報委員会
- ♪ 労働問題審議会委員



議 長	江見 輝男	副 議 長	津田 加代子	監 査 委 員	秋田 修一
議 会 運 営 委 員 会	◎小山 敏明 ○大矢根 秀明 ・黒田美智 ・北上 哲仁 ・土田 忠 ・平岡 譲・安田 末廣 久保 義孝・松田 敬幸				
常 任 委 員 会	総務生活	◎北上 哲仁 ○松田 敬幸・住田 由之輔 津田 加代子・福西 勝・鈴木 光義 梶田 忠勝・小山 敏明	特 別 委 員 会	飛行場対策 周辺整備調査	◎宮路 尊士 ○住田由之輔・森本猛史 北上 哲仁・津田 加代子・福西 勝 吉田 進・大崎 淳正
	厚 生	◎平岡 譲 ○多久和 桂子・森本 猛史 黒田 美智・土田 忠・吉富 幸夫 吉田 進・江見 輝男・宮路 尊士		まちづくり調査	◎大矢根 秀明 ○宮坂 満貴子・北野 紀子 秋田 修一・江見 輝男・久保義孝 安田 末廣・多久和 桂子・安田 忠司
	建設文教公企	◎安田 忠司 ○大崎 淳正・北野 紀子 宮坂 満貴子・秋田 修一・岡 留美 大矢根 秀明・久保 義孝・安田 末廣		新名神高速 道路周辺対策	◎土田 忠 ○鈴木 光義・黒田 美智 松田 敬幸・岡 留美・吉富 幸夫 平岡 譲・梶田 忠勝・小山 敏明
農 業 委 員 会 委 員	黒田 美智・梶田 忠勝		猪名川上流広域ごみ 処理施設組合議会委員	森本 猛史・黒田 美智・宮坂 満貴子 松田 敬幸・岡 留美・鈴木 光義 平岡 譲・久保 義孝・小山 敏明	
広 報 委 員 会	◎久保 義孝 ○大崎 淳正・北野 紀子・北上 哲仁・秋田 修一・安田 末廣・安田 忠司				
情 報 公 開 協 議 会	◎津田 加代子 ○北上 哲仁・平岡 譲・安田 忠司・小山 敏明				